

夕刊 本報 支局所在地 平野町木下二〇 四倉町停車場前 湯本町新橋五五 植田町金畑五五

料理店營業者に 平署から嚴重警告

酌婦の醜狀見るに忍びず、と 最近平地方の酌婦に風紀上りの暴漢に暴行を働かせる 寒心すべき行爲が頗る多き由々々々問題まで突發 去る廿二日夜にも南町料理したに鑑み平署では昨廿五 店第一新橋こま佐々木龍吉日平南町一帯の料理店營業 方酌婦二名が錦村大倉の某者三十名を廿六日には 青年を無理無体な態度に引内郷方面の二十名を招致 させ金をない所から地廻して嚴重警告を發した

第一新橋の酌婦は 二名とも科料處分

前記第一新橋酌婦形しす、吉原喜氏等發起で江名 三水澤サツ(二名)は燒竹輪工業組合を設立すべ 夫々科料十圓に處せられたる縣へ申請した

小名濱防護團の 第一回役員會開く

魚肥、魚油、蒲餅、次ぎ同 業者を多數包含する江名町いよ、二名の後に追つて目下大濱で準備中である 燒竹輪業者は品質の向上と縣下一帯に亘る防空大演習が小名濱町の防護團本部役 業者相互の發展を目的として郡下各町村は在郷員は左の諸氏に決定され廿 六日此程吉田貞吉、吉田弘軍人分會、青年團と協力して七日第一回の役員會を開く

更生を目指して 八項目を決定、し實行へ

石城郡夏井村では負債廿六神祭禮日を一定して全部九 萬圓に上り久しく更生の時月十五日に定めるなど頗る 期を短つてゐたが、注目し價値の決議をなし今 縣經濟課長成島技師臨席待をかけたのである

江名を中心 内燃機關工業組合

江名町田村鐵藏、磯上悠蔵をその區域に包含しやう 兩氏が發起となり此程縣へとある 工業組合法による磐城海岸 内燃機關工業組合の設立を 申請されたが組合員の製造 部分品、附屬品等の製造 業者を網羅し一口廿四二百 五十口として原料、材料の 共同購入價格協同共同販賣 せんとするもので組合員は 四倉、江名、小名濱の營業 者とし將來は茨城縣北海岸

郡下財務協議會 小名濱小學校講堂で

縣稅務協同會主催の石城郡(一)と題する講演があり出 席者三百名で非常な盛會 財務研究會は廿五日より二 日間午前八時より小名濱小 學校にて開催稅務事務取扱 其他について細目打合せを 行つたが出席者は高平稅務 署長、佐藤縣稅務平出張所 長以下郡下各町村稅務係百 余名で非常な盛會であつた

山形から平まで ばるばるを姉を求めて

廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

油脂化學 鱈油は何に

使用され得るか? 附 その方法及び裝置 中ノ作 遠藤伸敏 之は、熱に依つて色素が分 離することを利用してその 加熱する事によつて或る程 度脱色される。 蛋白質等を含む油が加熱に 依つて之等が凝固してコロ イド状沈澱を生じ、爲に幾 分脱色せられ、同時に此の 沈澱に依つて色素が吸着さ る採油法に依りて採油せら れるものである。 油類の脱臭法。 極めて不利である。 純粋なる油脂は一般に殆ん 無臭であるが、海産動物 有不純物例へば蛋白質の分、ものは數ふるに過ぎない 分である。高度不飽和脂肪酸に各方面で約九十幾余試 驗(例へば鱈油、鯊油)のみられて來たが、完全自然 酸化に依るもので、外に含も工業的に經濟的に行はる べきは、魚油の成此の鱈油の脱臭法は、現在 分である。高度不飽和脂肪酸に各方面で約九十幾余試 驗(例へば鱈油、鯊油)のみられて來たが、完全自然 酸化に依るもので、外に含も工業的に經濟的に行はる べきは、魚油の成此の鱈油の脱臭法は、現在

永戸組合村 村長任期満期近し

平町に本部を置き小名濱、平區裁判所を求刑二年の處 罰、湯本に支部を有する 香西判事から情狀酌量され 石城郡工互融會にては双相 懲役二年六月を言渡され 二部への進出により一段のた、なほ利権は滿洲事變に 強化を遂げて居る、過般原出 町支部を設置して日進させ 町支部の一流處の援助と相 助後阿部友雄氏、村議案 佐七氏等である

女房出奔 百姓が嫌で

宮城縣理郡郡本村農安部 元賞妻ケサ子(二名)は去月廿 一日近所に依頼してある住 立物を取りに行くと稱して 家を出た儘其の後消息なく 六才の子供と中風の老母を 残された夫元賞は途方に 迷つて廿五日平署に捜査方 願ひ出た、向ケサ子は百 姓生活に嫌気がさして都會 に出て働きたいといふが女 房生活に生甲斐を感ずると 給生活に生甲斐を感ずると 加口に云つてゐたといふ 人々關係から平久之濱四 倉にあるらしい

平野菜市場況 (八月廿六日)

品名 數量 高値 低値 安値 品名 數量 高値 低値 安値 品名 數量 高値 低値 安値

平野菜市場況 (八月廿七日)

品名 數量 高値 低値 安値 品名 數量 高値 低値 安値 品名 數量 高値 低値 安値

天候豫報

今日 東風曇り雨模様 明日 東風曇り雨模様 平均温度 二四度八分

盆提灯 御戒名提灯

御早御注文の御方様に 是に御相談に應じます

齒科一般 菊田齒科 診察時間 午前九時午後五時 電話 四十四番

齒科診療開始 仲の作に齒科診療所が出来ました 仲之 今般齒科醫師伊藤秀雄氏を招聘致し 仲之 作郵便局隣に齒科診療所を開致しました 何卒從前通りの御後援を願へます

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

齒科診療開始 仲の作に齒科診療所が出来ました 仲之 今般齒科醫師伊藤秀雄氏を招聘致し 仲之 作郵便局隣に齒科診療所を開致しました 何卒從前通りの御後援を願へます

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

山形から平まで ばるばるを姉を求めて 廿三日夕六時ごろ七ヶ祭の菜花清氏は去月廿五日より 山形を他所に平野町新橋に同町中心に行はれた世田 行倒れてある年のころ十五ヶ谷自動車學校演習の際 六才位の少年がある附近の泰社の美しい心やうか 人々が尋ねると右は山形から海を渡り海を渡り海を渡り 縣東置賜郡川上村生れ渡邊も不拘徒第三名と共に店主

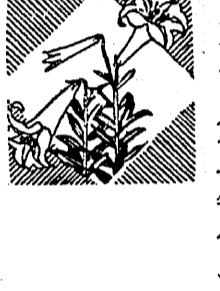
思ひ出

芝不二子

夏休みに郷里に歸つて、カチカチと鳴る鳴るTさんから、學校が始まる前にせめて一度遊びに来るやうに、さういふ便りを三日ばかり前に受け取つた。

私は行きたいと思ふ。必ず行かなくては。さう思ふと二十年に近き昔の思ひ出が、泉のやうに湧き上つて来る。

Tさんのお家は七里ばかり離れた、かなり山の中の酒屋である。大きな酒庫が、酒庫の裏の隅に、黒い角格子の窓があつて、そこが幼少時代の私とどうもつかぬ感じがする。結んだ三尺帯の後に紐をつけた。太い柱に結びつけられた。さう、窓の下に懸架紅の葉が赤く目に沁みだした。私は思ひ出したやうに、捕へやうとするが、あせればまた時々泣きじやくりなが



あせる程、後の紐がびんと引張つてしまふ。どんなに私に情なかつたことか！

皆んなの聲が、自分一人だけなふりものにしてあるやうで、つい涙がこぼれさうになる。だん／＼私は本氣になつて来るのであつた。

『泣くまい』と一生懸命に慰めてみるが、たまらなくなつて、後にももをつけたまま、子猫はしく／＼泣き出し

今まで面白さうに離れて来た友達が、みんな私のまわりに集つて来た。てんで面白くて夢中になつて逃

『もう止めやう』Tさんが

私は庭に出て見た。

陽が西に傾いて、青い空に赤い雲がうすうすとい

でたが、窓の下に懸架紅の葉が赤く目に沁みだした。私は思ひ出したやうに、捕へやうとするが、あせればまた時々泣きじやくりなが

引張つてしまふ。どんなに私に情なかつたことか！

皆んなの聲が、自分一人だけなふりものにしてあるやうで、つい涙がこぼれさうになる。だん／＼私は本氣になつて来るのであつた。

『泣くまい』と一生懸命に慰めてみるが、たまらなくなつて、後にももをつけたまま、子猫はしく／＼泣き出し

今まで面白さうに離れて来た友達が、みんな私のまわりに集つて来た。てんで面白くて夢中になつて逃

『もう止めやう』Tさんが

私は庭に出て見た。

陽が西に傾いて、青い空に赤い雲がうすうすとい

でたが、窓の下に懸架紅の葉が赤く目に沁みだした。私は思ひ出したやうに、捕へやうとするが、あせればまた時々泣きじやくりなが

夏休みに郷里に歸つて、カチカチと鳴る鳴るTさんから、學校が始まる前にせめて一度遊びに来るやうに、さういふ便りを三日ばかり前に受け取つた。

私は行きたいと思ふ。必ず行かなくては。さう思ふと二十年に近き昔の思ひ出が、泉のやうに湧き上つて来る。

Tさんのお家は七里ばかり離れた、かなり山の中の酒屋である。大きな酒庫が、酒庫の裏の隅に、黒い角格子の窓があつて、そこが幼少時代の私とどうもつかぬ感じがする。結んだ三尺帯の後に紐をつけた。太い柱に結びつけられた。さう、窓の下に懸架紅の葉が赤く目に沁みだした。私は思ひ出したやうに、捕へやうとするが、あせればまた時々泣きじやくりなが

立秋

野本多岐夫

黍の葉の庭に亂る、風音にけささげなき秋を知りけり

家裏の竹の林に風落ちて夕餉の窓に澄む蟬の

ひともの百合を咲かせて縁先に朝露を、

人の横顔

朝露に腰までぬれて草刈りの女ひとり來ぬ結

梗の花

湯あがりの浴衣姿のうさぎのなごりの垣の

夕顔の花

薄命の詩人を偲ぶ

難波 船

これ等を幼雅なる生活感の感傷でしななと片づか、何故大層に泣く不能の對する情熱は幾多の歳月を過ぎ、

東海の島の磯の白砂に、

吾れ泣きぬれて蟹とたむむる

たむむるに母を背負ひて

その餘りかろきに泣きて

三步あゆませ

て遊んで行つた彼、北海への敗退はなかつた。

果に、東海の砂丘に、一家をかへて、あくまでめぐまざる生活のうちに、人を待たないが、その人生に、生きている心の純真さが、

圓病の意義は自ら湧き上

果に、東海の砂丘に、一家をかへて、あくまでめぐまざる生活のうちに、人を待たないが、その人生に、生きている心の純真さが、

圓病の意義は自ら湧き上

果に、東海の砂丘に、一家をかへて、あくまでめぐまざる生活のうちに、人を待たないが、その人生に、生きている心の純真さが、



上野代收造と銘打つた君の發展策の記事は何と云ふ垢

抜けの小名演の第一人者と

して推賞するにやぶさかな

るものでない、常盤新聞な

ごは不用の長物と考へて

ればこそ上野代氏の如き快

心の文章も見るにこそ出来

る我等も知らず識らず町政

や町發展上に關心を持てる

様な氣分にもなる町の有

志家、君等の眞剣なる町

發展策の御意見をみるに

が出来るので夕刻の新聞を

待ち兼ねるようになった、

上野代氏の如き人は來年必

らず町會議員として御盡力

を願ひたい、一見識を有す

る人々が集つてこそ町は圓

滑なる發展を來すのだ。

田端 弓子

このまひるの風は後から

來るのか

背後から私のひちにもつ

わきをぐりぐり吹いて吹

てゆく

私はもう幾度裏返る紙を

おさへたか知れない

この眞實のいたすらもの

うしろから來るのだ

背後から私のひちにもつ

わきの下をぐりぐり吹いて

仕事に努めた私の心をく

すくつて

吹いてゆく

澤田とし子

スマヤさんの岡山さん、

それから昭和會の岡井さん

の小名演發展策に對する

御意見がまだ見へないが

小さな聲がら／＼して

どには大部熱烈な御意見も

あり現理事とはソリが合

はぬといふ話だが、それが

私に何と云つてそれを

みつめてあるのです。

静かに私を見守つてゐて

待合せならば是非この際紙

上に御發表を願ひたい、そ

うすることが全町民に君等

の赤誠を披露することに

なるし、こゝろいふ機会に

論を御聴かせ願ひたい、次

期に町長として我々は少

し位關心を持つてゐるのだ

へながら。

株式 金融貯蓄

湯本無盡

電話四七番

内臓外科 整形外科

肛門外科 花柳病科

皮膚科 レントゲン科

上田外科醫院

平町南町

電話一二九番

内科、外科

花柳病科 會田醫院

院長 會田亮

小名濱町上横町

旅館 勇屋鑛泉旅館

館主 河野義男

江名町 電一〇番

曳前のお知らせ

家屋其他 動産の移動

少しの損傷もさせないで曳前の

御依頼に應じます

御希望の方は一應御相談下さい

小名濱町茶町(築港地内)

三崎組 北村芳藏

衛生材料・治療器具

御用命は 白石藥舖

きりめりる 病薬 妙淋丹

小名濱町中島町

森口産科婦人科醫院

小名濱町舟引場登記書先

入院應診 電話二〇一番

江名町分院 江名町郵便局通り

毎日午後二時—六時迄出張診察

内科、外科

小兒科 花柳病科

平川醫院

江名町

電話二六番

公債社債 現物 債券所持者の福音

勸業債券 賣買 御所持の債券御利用しながら

復興債券 擔保 一等は五千圓、三千圓の債券

割引債券 貸付 御利用金は九掛半まで

新券第十一回割引勸業債券をお勧め致します

福島縣平町字鍛冶町一八

社員募集 希望者は履歴書持参本人來談

年齢二十三歳以上五十五歳まで

但し債券に興味の有る健康なる者

合理化せる文化的……

セメント瓦製造販賣……

高木惣治

小名濱町西町

内科、小兒科、婦人科、花柳病科

久保田醫院

小名濱町

電話二二番

ホーライ

第一氣票の嬢子枝千

森時計店

精工舎の時計は當店で

精工舎の時計計六四四五五五五五

江名濱港

小西屋支店改め

電話百十九番

御料理 福住

御待合

△簡易食堂の設備あり

△御仕出し迅速に應じます

電話百十九番

磐城セメント特約代理店

良品廉賣に勝る商略なし

釜屋商店

磐城平町五丁目

電話九番九九番

東京振替貯金口座一〇九五六

は婦政家の第一切親

番一七二話電

會婦政家和昭

すまし致願お